



年度精選

本局陳俊偉局長(右五)と工程施工チーム代表の記念撮影(12月21日)

年間ハイライト—高雄園區と中山高速道路との連絡道工事

「南科高雄園區と中山高速道路を結ぶ連絡道工事(第一工区)」が国科会の推薦を受けて参加し、全国三万件以上の事の中から「第八回公共工事金質獎」土木工事部門施工品質優等獎を受賞した。公共工事委員会は2007年12月21日に台湾中油ビルにて盛大な授賞式を執り行った。

高雄園區と中山高速道路を結ぶ連絡道工事は第一工区と第二工区に分けられ、全長約4キロ。2005年5月に開工し、2008年初頭に交通部高公局インターチェンジ工事の完成をまって開通する。途中、省道台1線および台湾鉄道縦貫線を越えて、中山高速道路(国道1号)へと接続する。これによって園區の業者は時間やコストを節約でき、経営効率を向上できる。その上に、園區の発展に伴って運輸量が増加しても、交通渋滞などの問題にも対応できよう。既存の道路に支障を与えないように、今回の第一工区工事では、カンチレバー(cantilever)工法を用いて省道台1線及び台湾鉄道縦貫線と高架で交差するようした。また台湾鉄道縦貫線との交差工事では、鉄路局の運行計画、オフピークの時間代に合わせて一部において夜間施工にも取り組み、施工チームは工事の進度の面でも安全

の面でも難関に挑戦した。本局をはじめ、台湾世曦顧問工事株式会社、中華工事株式会社などからなるチームは一致団結し安全第一、品質堅持を原則に、さまざまな困難を克服して、金質獎の榮譽に輝いたのである。

これはサイエンスパークが開発以来、初めて金質獎審査に参加した。カンチレバー(cantilever)工法、夜間施工、いずれも難度が高く、南部各大学関連学科に視察を依頼した。学術理論と実際の工事の連携をはかって、工事の品質を高めるためである。

公共工事は国家建設百年の大計である。今回の受賞は、南科チームによる工事品質探求の精神を強く激励するものとなった。



行政院公共工程委員会吳澤成主委(左)が金質獎を本局陳俊偉局長(右)に授与(12月21日)